

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略実施状況一覧

基本目標Ⅰ 安全で安心して暮らせるまち (1) ほっとわらび！安全安心プロジェクト

数値目標	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	実績値 平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
		家庭等における災害への備え実施率(市民意識調査)	80.3%	82.0%				90%以上
①自助・共助・公助の連携による防災都市づくり	指標	基準値 平成24年	平成27年	実績値 平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	担当課
	犯罪発生件数	1,367件	991件				平成24年から10%以上削減	安全安心推進課
②犯罪のない明るい地域づくり	KPI	現状値 平成26年度	平成27年度	実績値 平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
	自主防災組織による防災訓練の実施率	81.1%	83.8%				100%	安全安心推進課
	事業名	取り組み内容						担当課
	家具転倒防止と感震ブレーカーの普及促進	平成27年度より障がい者のいる世帯や高齢者のみの世帯等を対象に家具転倒防止器具設置等補助事業を開始。27年度の申請件数は15件。感震ブレーカーは防災訓練等への展示による普及促進を行った。家具転倒防止器具設置等補助事業は、28年度に限り全世帯を対象に実施。						安全安心推進課
	自主防災組織への支援強化	平成27年度、塚越小学校でモデル的に避難所運営訓練を実施。28年度は5地区の自主防災会各1か所以上へスタンドパイプを配備予定。						安全安心推進課
	障害のある方々などへの避難行動支援計画策定	平成27年度、個別計画を策定し、その情報を避難支援等関係者へ提供した。						安全安心推進課
公民館、市民体育館、市民会館の耐震化促進	平成27年度に東・南公民館の耐震補強工事等を実施。28年度は市民体育館・北町公民館・北町児童館の耐震補強等工事、市民会館・中央公民館・勤労青少年ホームの耐震設計を実施予定。						庶務課 生涯学習スポーツ課 中央公民館	
上下水道の耐震化と長寿命化促進	上水道の基幹管路の耐震化率は平成27年度末時点で91.3%(26年度末90.9%)。下水道は、28年度予算に下水道管路長寿命化基本計画策定に係る費用を計上。						下水道課 水道部維持管理課	
②犯罪のない明るい地域づくり	KPI	現状値 平成26年度	平成27年度	実績値 平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
	防犯対策の満足度(市民意識調査)	3.06(平均値3.07)	2.91(平均値2.94)				平均値以上	政策企画室
	事業名	取り組み内容						担当課
	全ての防犯灯のLED化	平成28年度中に全防犯灯のLED化を実施予定。						安全安心推進課
防犯カメラの設置	平成28年度に設置について方針を定める。						安全安心推進課	

基本目標Ⅱ 豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち (2) キラリわらび！子ども未来プロジェクト

数値目標	指標	現状値		実績値			目標値	担当課	
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	出生数	597人	634人				650人	市民課	
	保育園待機児童数	47人	33人				0人	児童福祉課	
①産前産後のサポート体制の充実	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	実績値 平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
		子育てしやすいと思う市民の割合（市民意識調査）	46.3%	40.1%				50%以上	政策企画室
		事業名	取り組み内容						担当課
	具 体 的 事 業	不妊治療費助成事業	不妊治療に対する国の助成が拡充されたことや、交付金の対象とならないことから、実施については調査研究中。						保健センター
		父子手帳配布事業	平成28年度より、希望者に父子手帳の配布を開始した。配布場所は保健センター、市民課、東公民館。						保健センター
		ぶらっとわらびの妊婦無料化	実施に向けて、実施時期・実施方法について調査研究中。						保健センター 安全安心推進課
		マタニティ 歯科健康診査事業	平成29年度の実施に向けて検討中。						保健センター
		妊婦等癒しの音楽事業	平成28年度に、妊婦の皆さんがおなかの中の赤ちゃんと一緒にリラックスして楽しんでもらえるような、やさしい音楽のコンサートを開催する。						保健センター
乳児家庭全戸訪問指導事業		子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行うため、生後4ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を対象として訪問した。平成27年度の実施率は94.8%						保健センター	
②～待機児童ゼロへ～子育てしたいまちづくり	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	実績値 平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
		多子世帯保育料の軽減補助対象児童数	126人	166人				200人	児童福祉課
		認可保育園数	7園	10園				12園以上	児童福祉課
		事業名	取り組み内容						担当課
	具 体 的 事 業	多子世帯保育料の軽減	従来より他市町村に先行して蕨市独自で実施してきた保育料軽減事業に加え、埼玉県で新たに実施する「多子世帯保育料軽減事業」を合わせて拡充実施した。 ※同時入所している第2子以降の児童（満6歳未満）に加えて、同時入所に係らず第3子以降の児童（満3歳未満）を新たに対象とした。						児童福祉課
		認可保育園の更なる増設と病児保育開設	認可保育園は、平成27年10月にメリーボピズ蕨北町ルームが開園。また、28年4月に、蕨すこやか保育園、わらびさくらさくほいくえんが開園。病児保育については、運営事業者の開拓及び、開設場所について検討中。						児童福祉課
		全ての市立保育園で土曜日の通常保育	平成28年7月より、市立保育園5園で一斉に実施。						児童福祉課
小学校を活用しての学童保育室増設		平成28年度予算で、南小学校区、北小学校区、塚越小学校区の新規学童室の整備費を計上。南小学校区は小学校内、北小学校区、塚越小学校区は隣接地に整備。南小学校区は28年7月開設。						児童福祉課	
子育てしたいまち情報発信事業		平成28年度に子育てしたいまち情報冊子を作成予定。また、まちの魅力をまとめたホームページを作成し、子育て世代の定住促進を促す。						秘書広報課	
③地域力を活かした楽しい教育の実現	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	実績値 平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
		不登校児童生徒の解消率(現状値より10%以上解消)	不登校児童生徒数 41人	不登校児童生徒数 39人 (解消率約4.9%)				現状値より10%以上解消	学校教育課
		事業名	取り組み内容						担当課
	具 体 的 事 業	教育センターの整備	平成28年4月に蕨市教育センターを開設するとともに、スクールソーシャルワーカー1名を配置した。スクールソーシャルワーカーは市内小・中学校の教育相談部会等への参加を通じて連携を図るとともに、学校からの相談対応や支援を行っている。						学校教育課
スクールソーシャルワーカーの配置								学校教育課	
④次代を担う「わらびっ子」の健全育成	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	実績値 平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
		アウトメディア講座参加者数	634人	403人				700人	学校教育課
		事業名	取り組み内容						担当課
具 体 的 事 業	アウトメディアの更なる推進	平成23年7月に蕨市アウトメディア宣言を制定後、アウトメディア推進大会やインストラクター養成講座など、アウトメディア推進事業を実施。27年度は219人参加（26年度215人）。28年度は、子どもを様々な弊害から守るため、携帯電話・スマートフォンに関するルールを策定予定。						学校教育課	
	わらび学校土曜塾及び放課後子ども教室の充実	わらび学校土曜塾、放課後子ども教室とともに市内全7小学校区で実施した。わらび学校土曜塾については、7小学校区合計で146名の参加登録があり、延べ151回開催した。放課後子ども教室については、7小学校区合計で814名の参加登録があり、延べ226回開催した。						生涯学習スポーツ課	

基本目標Ⅲ みんなにわたたく健康に生活できるまち (3) イキイキわらび! 健康密度日本一プロジェクト

数値目標	指標		現状値	実績値			目標値	担当課	
	健康に気配りしている市民(成人)の割合(市民意識調査)		平成24年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年		平成31年
①協働による健康まちづくりの推進	K	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
	P		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	I	わらび健康アップサポーター数	232人	262人				354人以上	保健センター
	具体的事業	事業名	取り組み内容					担当課	
		ウォーキングや筋トレによる健康まちづくりの推進	「ウォーキングと筋力アップで健康密度も日本一プロジェクト」として平成27年9月より実施。28年度も継続して行う。					保健センター	
		健康アップサポーターの養成	平成27年度は健康アップサポーター養成講座を3回実施した。					保健センター	
②市立病院の充実と健康診査・検診の促進	K	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
	P		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	I	各種がん検診の平均受診率	19.6%	21.1%				25%以上	保健センター
	具体的事業	事業名	取り組み内容					担当課	
		市立病院の地域連携と診療充実、将来構想の策定	平成27年10月より地域医療連携担当に医療ソーシャルワーカー1名を配置した。また、28年4月1日付けで小児科常勤医師を採用したほか、専門外来の拡充として、乳腺外来の診療について、毎週木曜日の午後診療を午前・午後の1日診療とした。					市立病院事務局庶務課	
		全てのがん検診の個別検診化	平成27年度は乳がん検診・大腸がん検診とともに集団検診として実施。多くの方に受診していただいていることから、28年度も両検診とも集団検診として実施予定。					保健センター	
		歯科口腔の健康づくりの推進	平成27年度に、20歳の歯科疾患予防推進事業を実施。対象者691名のうち80名が受診した。受診率は11.6%。					保健センター	
③だれもが自分らしくイキイキと暮らせる環境づくり	K	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
	P		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	I	認知症サポーター数	994人	1340人				1,200人以上	介護保険室
	具体的事業	事業名	取り組み内容					担当課	
		だれもが安心して住み続けられる地域包括ケアシステムの構築	平成28年度より新しい総合事業に移行したほか、以下の取り組みを実施し、地域包括ケアシステムの構築を推進した。 ①在宅医療・介護連携に向けた、医療及び介護関係者の合同研修会を開催 ②認知症地域支援推進員の選任と、認知症サポーター養成講座を実施 ③生活支援体制整備を進める生活支援コーディネーターを選任 ④介護予防事業として、住民運営の通いの場を6グループ立ち上げ					介護保険室	
		地域密着型介護施設（ミニ特養）の整備	市内外の社会福祉法人に向け公募を行うも応募がなかった。平成28年度の新規公募に向け検討中。					介護保険室	
		障害者入所施設の広域的検討とグループホームの整備	障害者入所施設について、3市事務協議・調整会議にて情報・意見交換、各障害者団体との懇談を行った。グループホームの整備については、引き続きニーズの把握を行うとともに、重度障害者の受け入れを行っているグループホームの視察を実施。					福祉総務課	

基本目標Ⅳ にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち (4) ワクワクわらび! にぎわい創出プロジェクト

数値目標	指標		基準値	実績値			目標値	担当課	
			平成24年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年		平成31年
	中心市街地における休日の歩行者自転車の通行量		41,980人	38,539人			43,585人以上	商工生活室	
① 蔵ブランド戦略やシティプロモーションの推進	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度までの累計	担当課
		蔵ブランド認定数	※新規施策のため 現状値はありません	平成28年度より 実施のため0個				5個以上	商工生活室
	事業名		取り組み内容						担当課
	具体的事業	地域資源活性化・魅力発信事業	① マスコットキャラクターワラビー着ぐるみのリニューアルとエンジェルわらぶ着ぐるみの作成：蔵市民に親しまれてきた地域資源であるワラビーの着ぐるみをより多くのひとに親しみやすいデザインにリニューアルするとともにTHE ALFEE(ジアルフィー)の高見沢俊彦さんにデザインして頂いたエンジェルわらぶの着ぐるみを作成した。更に、市内外のイベント等に積極的に出演するとともに、ゆる玉応援団等に参加した。 ② ハロウィンワールドinWARABIのリニューアル：広く観光振興を図るため、平成21年度より実施している蔵の地域資源であるハロウィンワールドinWARABIを、幟旗や衣装をリニューアルして実施した。 ③ 観光ガイドの作成：広く観光振興を図るため、蔵の観光名所などの地域資源を紹介する観光ガイドを新たに作成し、市内公共施設や蔵市観光協会に配布している。また、日本橋にある(一財)地域活性化センター「ふるさと情報コーナー」や、埼玉県庁、南部地域振興センターに観光ガイドを配架した。						政策企画室 安全安心推進課 商工生活室
	具体的事業	蔵ブランドの創出やシティプロモーションの推進	蔵らしさを有した優れた商品を審査し、蔵ブランドとして認定する、蔵ブランド認定制度を平成28年度から開始し、現在、申請品の募集を行っている。また、わらびりんごや双子織、成人式発祥の地といったまちの魅力を新聞などを通してPRしたほか、蔵市PR大使に元AKB48の松井咲子さん、将棋女流棋士の中井広恵さんに就任いただき、情報を発信していただいている。						秘書広報課 政策企画室 商工生活室
具体的事業	子育てしたいまち情報発信事業(再掲)	平成28年度に子育てしたいまち情報冊子を作成予定。また、まちの魅力をまとめたホームページを作成し、子育て世代の定住促進を促す。						秘書広報課	
② 蔵を元気に! 中心市街地の活性化	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
		市民意識調査における「駅周辺の整備」の満足率	29.1%	21.6%				36.8%	商工生活室
	事業名		取り組み内容						担当課
具体的事業	中心市街地活性化基本計画の着実な推進	計画に掲載の事業のうち、東口コミュニティショッピング道路整備事業については、平成27年度に実施設計を行い、28年度に工事を実施。わらびりんごビジネス展開事業については、27年度にわらびりんごサイダーを商品化し、機まつりで販売した。また、歴史民俗資料館分館を活用した、蔵宿“食”の交流拠点整備事業、四季を味わう“日曜日の夕べ”交流会事業については、実施主体である、一般社団法人蔵市にぎわいまちづくり連合会と地元商店街を中心とした、プロジェクトチームを立ち上げ、事業実施に向け、計画の具体化に取り組んでいる。計画掲載事業42事業中16事業(約38%)が実施。						商工生活室	
具体的事業	蔵の玄関口にふさわしい蔵駅西口再開発の推進	27年度は事業協力者の選定を行うなど、事業の推進体制を整えながら、都市計画の素案となる施設建築物等の検討や関係機関との協議など、事業化に向けた準備組合の活動に対し、必要な協議、支援を行った。						まちづくり推進室	
③ 創業支援体制の強化	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 年間	担当課
		蔵市創業支援事業計画掲載事業を受けて創業した件数	創業支援により 創業した件数 11件	6件				19件	商工生活室
	事業名		取り組み内容						担当課
	具体的事業	創業支援・地域経済活性化事業	① コミュニティビジネス講座創業セミナーの開催：地域資源となる市内創業を創出するとともに、コミュニティの形成、地域活性化、空き店舗対策につなげるため、地域創業を目指す者に対し、座学と駅前通りの空き店舗を活用して、約1か月間、期間限定のチャレンジショップを運営する実体験をセットにした創業セミナーを開催した。受講者数は13名。 ② 住宅リフォーム助成の拡充：市内事業者の受注拡大を図り、地域経済の活性化につなげるため、従来実施していた住宅リフォーム制度について、助成割合(5%)と限度額(10万円)をそれぞれ2倍に拡充して実施した。助成件数は72件。※市内事業者を活用して住宅リフォームを行おうとする個人に対する助成事業						商工生活室
具体的事業	コミュニティビジネス支援事業	地域資源となる市内創業を創出するとともに、コミュニティの形成、地域活性化、空き店舗対策につなげるため、地域創業を目指す者に対し、座学と駅前通りの空き店舗を活用して、約1か月間、期間限定のチャレンジショップを運営する実体験をセットにした創業セミナーを開催した。受講者数は13名。						商工生活室	
具体的事業	空き店舗有効活用の更なる推進	一般社団法人蔵市にぎわいまちづくり連合会と連携し、対象空き店舗の改装(外装・内装・設備等の工事)に要する経費の2分の1以内(上限50万円)、開店等に要する広告宣伝費の2分の1以内(上限10万円)を出店する事業者に交付する。また、非営利事業を営む場合については、上記に加え、店舗賃貸料の3分の1以内(上限80万/1年度)を、2年度まで交付する。						商工生活室	
④ 人材を育て活かす学びとスポーツの推進	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
		市主催の音楽関連事業参加人数	5,000人	5,689人				5,500人以上	生涯学習スポーツ課
	具体的事業	錦町スポーツ広場の利用人数	7,000人	13,469人				14,000人以上	生涯学習スポーツ課
	事業名		取り組み内容						担当課
具体的事業	音楽や河鍋晩斎記念美術館と連携したまちづくり	音楽によるまちづくり懇談会より提出された提言書に基づき、平成27年度から「蔵市民音楽祭」、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」、「子ども音楽大学わらび」の各事業を実施した。また、平成27年8月に河鍋晩斎記念美術館との連携協定を締結し、市役所や蔵駅西口エレベーター内に企画展・特別展のチラシを掲示したほか、市ホームページに晩斎の特設サイトを設け、晩斎の紹介やWinkで放送した動画を配信。広報蔵の平成28年6月号からは、美術館との協働で美術館作品の紹介記事の連載を開始した。						秘書広報課 政策企画室 生涯学習スポーツ課	
具体的事業	錦町スポーツ広場の人工芝化	平成28年度予算に人工芝化等の改修工事に係る設計費用を計上。						生涯学習スポーツ課	

基本目標Ⅴ 快適で過ごしやすい環境にやさしいまち (5) 住マイルわらび!暮らし快適プロジェクト

数値目標	指標	現状値		実績値			目標値	担当課	
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度までの累計		
数値目標	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業により市外から転入した人数	※新規施策のため 現状値はありません	34人				180人	建築課	
	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業により引き続き、市内に居住した人数(転出抑制効果)	※新規施策のため 現状値はありません	77人				60人	建築課	
①三世代家族の同居等の促進と快適で魅力ある都市基盤整備の推進	指標	現状値					目標値	担当課	
	K	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度までの累計		
	P	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業補助金交付件数	※新規施策のため 現状値はありません	20件				138件	建築課
	I	錦町土地区画整理事業区域(85.1ha)内の整備面積	48.5ha	49.4ha				52.4ha	区画整理課
		事業名	取り組み内容						担当課
	具	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業	・同居又は近居するために補助対象住宅を購入する場合の住宅取得費用の補助を実施した。(住宅取得費用の100分の1に相当する額 最大:10万円) ・三世代住宅で同居するため、親世帯又は子世帯のいずれかが所有し、かつ、居住していた住宅を建て替える場合の住宅取得費用の補助を実施した。(住宅取得費用の100分の3に相当する額 最大:30万円) ※昭和56年5月31日以前の住宅を建て替える場合、20万円を加算する。(最大:50万円)						建築課
	体的事業	ぶらっとわらびのルート拡充	ルート拡充案の作成に向け、アンケートの実施について、蕨市コミュニティバス運営委員会で検討を行った。						安全安心推進課
	錦町土地区画整理事業の推進	平成27年度は、家屋移転19戸に加え、延長349.8mの街路築造、延長265.7mの舗装新設工事等を実施したことにより、27年度末の整備面積は、0.9ha増の49.4haとなった。						区画整理課	
	中央第一地区まちづくり事業の推進	道路等の地区公共施設の整備を進めており、平成27年度には、中央第一ふち広場を整備し、供用を開始するとともに、地区公共施設用地を10件、約236㎡取得し、28年3月末時点の取得済面積を約457㎡とした。						まちづくり推進室	
②～エコ・コミュニティ～花いっぱいのもちづくり	指標	現状値					目標値	担当課	
	K	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	P	花いっぱい運動で配布した花苗数	38,000鉢	40,447鉢				40,000鉢	安全安心推進課 道路公園課
	I	事業名	取り組み内容						担当課
	具	花いっぱいのもちづくり	平成27年度の花苗配布数は40,447鉢(26年度は38,361鉢)。また、公園等自主管理団体にリサイクルフラワーセンターを活用した花苗の植栽や、花壇の管理などの協力をいただき、公園等に植栽する花苗の鉢数(27年度16,992ポット)を増やしているほか、花いっぱい運動を積極的に推進している団体を表彰し功績を称えることで、各地域への波及効果や環境美化に対する意識の向上を図っている。						安全安心推進課 道路公園課
体的事業	わらびりんご通りの整備	元蕨法ヶ田線のうち、幅員20m以上の区間約640mを対象にわらびりんごの植樹を行っている。平成27年度末の整備済区間は約400m。わらびりんごの本数は23本となった。						区画整理課	

基本目標VI 一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち (6) わがまちわらび！市民が主役プロジェクト

数値目標	指標		実績値					目標値	担当課
	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	まちへの愛着（市民意識調査）		72.4%	69.0%				75%以上	政策企画室
①女性がいきいきと輝く環境づくり	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度	担当課
		ワーク・ライフ・バランス推進事業数	11事業	8事業				15事業	市民活動推進室
	具 体 的 事 業	事業名	取り組み内容						担当課
		ワーク・ライフ・バランス推進事業	イクメン・料理男子フォトコンテスト、パパと子のクッキング、パパのための地域交流会、パネル展を開催した。						市民活動推進室
		女性のライフステージに対応した多様な働き方の支援	男女共同参画啓発紙「パートナー」で「女性の働き方もっと多様に！」を特集した。						市民活動推進室
指導的地位における女性登用の促進	審議会等における女性の登用状況調査を実施した。						市民活動推進室		
②市民・NPO等との協働のまちづくり	K P I	指標	現状値 平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度までの累計	担当課
		協働事業提案制度への応募件数	5件	4件				25件	市民活動推進室
	具 体 的 事 業	事業名	取り組み内容						担当課
		協働事業提案制度の充実	協働事業提案制度に関するアンケートの内容について検討を行った。						市民活動推進室
		防災や見守りなど民間団体・企業との連携・協定の促進	災害協定は、平成27年度2件(蕨ケーブルビジョン(株)、(公社)日本下水道管路管理業協会)、平成28年度は現在1件(埼玉司法書士会)締結。見守り協定は平成27年度に3件(公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会南彩支部、布亀(株)、ワタミ(株))締結した。						安全安心推進課 介護保険室
多文化共生事業		平成27年度みんなの広場として市民体育館にて運動会を実施し、6か国32人の外国人を含む92人が参加した。						秘書広報課	
協定自治体との連携推進	蕨市及び片品村相互交流推進研究会を設置し、蕨市・片品村ふれあい交流協定20周年(平成28年度)に向けた取り組みについての調査研究を目的として、平成27年11月と平成28年4月に計2回開催した。						秘書広報課 政策企画室		